



「おもしろい!」「楽しい!」が支える学び

園長 中島 由美子

7月7日は七夕です。本園には、松竹スクエア様からご提供いただいた立派な仙台の七夕飾りがあり、子どもたちは雰囲気味わいながら、七夕製作を楽しく進めています。保護者、地域の方にも、七夕の文化に触れていただきたく、玄関に大きな笹を設置します。子どもだけではなく、大人も少しだけ立ち止まり、「今」「この時」の願いを短冊に込めてみてはいかがでしょうか。

幼稚園では、この時期ならではの遊びとして、水遊びやプール遊び、シャボン玉遊びが盛んに展開されています。同じ遊びでも、年齢によって経験すること、感じることは様々です。年少組のシャボン玉遊びでは、吹くとシャボン玉ができる面白さを感じ、繰り返し吹いています。繰り返しの中で息を吹く強さやタイミングなどを経験として少しずつつかんでいき、自分のものにしていくのです。年中組では、大きな輪の道具を使ってシャボン玉遊びをしています。大きなシャボン玉を作るために、道具の使い方（速く動かす、ゆっくり動かす、横に動かす、縦に動かすなど）を自分で調整しながら遊んでいます。年少組、年中組共に、「膨らんだ」「膨らませたい」という思いが目的となり、繰り返し行う中で、「どうして?」「なんで?」「こうしてみよう!」「できた!」「もっと」という好奇心と、夢中になって遊びこむ探究心がはぐくまれています。

さて、年長組は年少、年中と経験を積み重ねてきています。今回は、「しゃぼんだまとあそぼう」(*)の絵本を読み聞かせしながら、膨らませるための道具を考えることにしました。ご家庭にも協力をいただきながら、身近な物で膨らませられるかもしれないものを自分たちで考えたのです。子どもたちからは、チェーン、ブロック、サンダル、ハンガー、フライ返し、泡立て器、茶こし、お玉、ふるいなど様々な道具が集まりました。それらが膨らむのか、シャボン玉液のつけ方や息の吹き方、風の吹く向き、用具の動かし方などを考えながら挑戦しています。年長児なりに、予測（この道具であれば膨らむかもしれない）をたて、必要な用具を準備し、繰り返しやってみる。それら、学びを支えるのが「おもしろい!」「楽しい!」です。引き続き「おもしろい!」「楽しい!」があふれる環境をつくってまいります。



同じ道具（チェーン）ですが、膨らむようにシャボン玉液のつけ方を工夫しています。

*福音館 文と構成=杉山弘之・杉山輝行 写真=吉村則人 絵=平野恵理子



- ・自分の気に入った遊びをする中で、教師や近くにいる友達との触れ合いを楽しむ。
- ・水遊びやプール遊びに繰り返し取り組み、楽しんだり、心地よさを感じたりする。



今月の学年目標

- ・自分の思いを表しながら、同じ遊びをしている友達と関わることを楽しむ。
- ・水遊びやプールに興味をもって取り組む中で、水の気持ちよさを感じたり、開放感を味わったりする。



- ・学級やグループの中で、自分の力を出したり、友達と一緒にいたりすることを楽しむ。
- ・水遊びやプールを通して、自分なりに試したり、挑戦したりして遊ぶ楽しさを味わう。